

令和4年度（平塚工科高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服従規律の徹底）	法令を遵守し、すべての公務外非行を未然に防止する	実施結果：A（良好） Teamsで通知類の提示等を実施し、職員全体の意識を向上させ、職員行動指針の徹底を図った。また不祥事防止会議を実施して法令順守に関する再点検を行った
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	職員が当事者意識をもって取り組み、ハラスメントを根絶する	実施結果：A（良好） 不祥事防止会議及び職員室等の巡視を通じてハラスメントを起こさない環境づくりに努めた。また、管理職による声掛けによってハラスメントを起こさない意識を醸成した
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防ぐ	実施結果：A（良好） セクハラの実態調査を実施し、職員及び生徒に対してスクールセクハラ防止への意識づけを行った
体罰、不適切な指導の防止	日ごろから体罰や不適切な指導が発生しないよう、教職員の意識の向上を図る	実施結果：B（概ね良好） 体罰の実態調査を実施するとともに、不祥事防止会議等で職場における再点検を行った。その際、不適切な指導と認識される行為とは何かについて職員全体であらためて検証した
入学者選抜・成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	調査書・通知書等の発行及び取扱いにおける点検体制を徹底する	実施結果：A（良好） 成績処理・入学者選抜業務前に不祥事防止会議を実施した。調査書や進路関係書類の発行・点検に際してルール化を行い、効果的な点検体制を敷いた。今後に向け、点検体制のさらなる改善を図り、ミスを未然に防止する体制を強化していく
個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理、特にデジタルデータの管理の徹底を図る。また、SNS、電子メール、成績処理等での事故を未然に防止する	実施結果：A（良好） 教務手帳の一元管理と成績処理関係書類の管理を徹底している。電子データの校外への持ち出しを厳しくチェックし、個人情報の管理も徹底している。特にUSBメモリの持ち出し禁止や外部への個人情報の持ち出しなどを確認し管理を徹底した。県の指針に基づき、暗号化サーバーによる適正なファイル管理を実施した
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員間の情報共有を促進して適切な業務協力体制を構築する	実施結果：B（概ね良好） Teamsを積極活用して情報共有を効率的に進めた。また、職員のボトムアップによる業務の協力体制の構築を進めている
会計事務等の適正執行	各種会計、現金管理に係る事故を未然に防止する	実施結果：A（良好） 令和4年6月に私費のインターネットバンキング移行に伴って、「私費会計処理マニュアル」を作成し、適正な会計処理のための研修会を実施した。その結果、概ねミスのない会計処理が行われるようになった

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

日頃より、不祥事防止会議や研修等で事故・不祥事の防止に対する職員の意識を高めた。
採用5年目までの若手の職員が増えている中で、目標に掲げた「法令遵守意識の向上」「職場のハラスメントの防止」については、しっかりと目標を達成できたものと考えている。

以下の項目に関しては、次年度以降も取り組むべき重点事項と考えている。

- ・ 「児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」では、SNSやスマホの誤った利用についてさらに啓発を行い、人権意識を向上させることでしっかりと意識づけを行いたい。
- ・ 「体罰、不適切な指導の防止」については、行為の禁止だけにとどまらず、誤解を招くような言動や行動についても意識して行動できるようにさせることで根絶させたい。また、職員に対する個別面談や人権研修会等を開催することで教職員の人権意識をさらに高めていく。
- ・ 「個人情報の管理、情報セキュリティ対策」では、教務手帳の管理等を行うことで物理的な事故防止の意識を高めることができたが、ICT機器等の整備によりデジタル情報の管理に対して更なる意識向上が必要になってきているので、対策重要度等についてもしっかりと理解させ、個人情報の保護を図る意識及び体制を整えたい。
- ・ 「会計事務等の適正執行」では、私費会計基準に則り適正な会計執行を行い事故防止に努めているが、物品の購入に際してネットバンキング等を更に活用することで、現金を取り扱わない体制を整えたい。